



414
A2930

直チニ家ニ帰リ壺中ノ酒ヲ地上ニ傾ケ酒壺ヲ
粉碎シタリ之ニ依テハツク氏ハ日本人中ニ節
飲社中ヲ建ルヲ得ルノ念ヲ生シテ速カニ之
ヲ实地ニ施行シ今日ニテハ世間飲酒ノ風俗ヲ
改メシカ為メ日本人ノ建設幹理セル節飲社中



集會
於テ一ノ日本人其聽聞シタル
直チニ家ニ帰リ壺中ノ酒ヲ地上ニ傾ケ酒壺ヲ
粉碎シタリ之ニ依テハツク氏ハ日本人中ニ節
飲社中ヲ建ルヲ得ルノ念ヲ生シテ速カニ之
ヲ实地ニ施行シ今日ニテハ世間飲酒ノ風俗ヲ
改メシカ為メ日本人ノ建設幹理セル節飲社中

一月六日「カセット」抄訳

第二号

二葉半

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄

4213



アリ其社員十一名ナリ又ハツク氏ハ日本通辨
又ノ助ヲ借テ説法シタリシカ耶蘇教ニ入り公
然洗禮ヲ受ケシ者十三名アリ現今廣島ニ一
千人ヲ容ルヘキ寺院ヲ建ルノ商議中ナリ

秘魯國錢道ノ進歩

余輩ノ通信人近頃左ノ事ヲ報知セリ
國錢道ノ進歩ヲ説クハ甚ク喜フ可シ
モヤヒエアマリノ錢道ハ全ク成就シテ政府ニ
引渡セリ唯オハヤ錢道ニ十五里未ダ成ラス又
ピウラニ至ル錢道及ヒピウラヨリクズゴニ至

リ千ニホリトヨリエルモラノ鑛坑ニ至ル錢道
ヲ造ルノ備ヲ爲シ之ニ加フルニ政府ハ
港ヨリプルニ達スル六十八哩間ノ錢道ヲ造
ラント決シタリ秘魯銀行ヨリ三十萬弗ヲ出シ
カルラオノ一商社ヨリ材料ヲ買入レテ資金ヲ
出サントシ古ノ商社ハ其出スヘキ資金ノ抵當
トシテ既ニ政府ヨリ一百萬弗ノ證券ヲ受取り
去ル六月二十六日北京ニ於テ議定シタル秘魯
ト支那トノ條約ハ未ダ秘魯公會ノ允許ヲ得サ

レ氏多分之ヲ允許ス可シ此條約ニ依レハ擔大
賣賣ヲ實地上ニ廢止シ支那移民ノ為ニ更ニ
慈善ノ法ヲ設ケ其箇條甚ク寛裕ニシテ支那ノ
移民ヲ法律上ニ於テハ秘魯ニ在テ最モ恩惠ヲ
受ル國ノ人民ト同等ノ地位ニ居ラシメ兩國互
ニ其國民ノ本國ヲ棄テ他ノ國民トナルノ權
利ヲ認メリ

秘魯政府ハ支那移民年期既ニ滿テ本國ニ歸ラ
ント欲スル時雙方豫メ契約ヲ結ビタル者ハ其
主人ニ命シテ送り歸サシメ若シ主人ヨリ送り

歸スルキ契約ヲ結ハス歸ラント欲スレハ旅費
ニ乏シキ者ハ政府ヨリ之ヲ給スヘキトテ約セ
リ
兩國ノ人民ハ自カラ好テ同意スルニ非ラサレ
ハ他ノ國ニ移ル可カラスト約シ此箇條ノ破ル
者アルハ其國ノ政府各々之ヲ罰シ斯ル法ニ背
キタル事ニ使用セラレタル船將船主ヲモ罰ス
ヘキトテ保ス

此箇條ハ大ニ良シ能ク實地ニ施行セハ是マ
テヨリモ上等ノ支那移民此地ニ來ル可シ

右
一
ニ
一
ヨ
ル
ク
レ
ホ
ブ
リ
ツ
ク
レ
ヨ
リ
抄
出